



今回、通常のようにデイサービスでの音楽療法を予定していたのですが、社協より老人クラブ連合会女性部の研修会に音楽療法を行なって欲しいとの要請で、午前中は女性部、午後はデイサービス対象の音楽療法となりました。社協側の配慮で社協内の同じ部屋で午前・午後とも行うことができ、楽器等の搬入が1回で済みました。川内村では藤木先生の音楽療法が好評とのこと。午前中の女性部研修会は藤木先生の音楽療法で笑いに笑い、富安先生のサックス演奏でクリスマスの讃美歌を堪能し、皆さんとても喜んでおられました。サックス演奏の前に先生がクリスマスのお話と励ましの言葉を少し話されました。それを聞いたある婦人の方は「主人が認知症で毎日心配な日々を送っている。今日の音楽療法で久しぶりに心が晴れ晴れとして暫くは感謝して暮らせそうだ」と話してくださいました。

(写真：上段左より、会場の様子、楽器演奏、笑いながらの音楽療法の様子

下段左より、富安先生のお話し、サックス演奏、女性部副会長の方と参加者全員の記念写真)



午後のデイサービスの方々と音楽療法～サックス演奏では、五感を使った音楽療法で利用者の方々も笑いながら楽しんでいきます。きよしこの夜のサックス演奏が流れると口ずさむ利用者の方も多くおられました。職員の方が「普段歌わない方が歌っていて驚いた。今後もよろしくお願いします。」とねぎらいの言葉をかけてくださいました

音楽療法が終わった後、私達は5区のCさんを訪問しました。90才を過ぎた独居のCさんは元気に暮らしておられました。先日の台風では、水が玄関に入り玄関が水でいっぱいになりました。床下浸水です。目の前の庭は水であふれ、Cさんは近くのコミセンに2日間避難したそうです。畳もダメになり取り換えました。以前と同じ家の風景でしたので、私達はそのような大きな災害に見舞われたとは、まったく気づくことができませんでした。Cさんはほぼ一人で玄関や靴箱の中の泥を掃除されたそうで、そのたくましい力には驚くばかりです。週末にはお子さんたちが来られて、倉庫にある、まだ泥だらけの畳や物を片付けるとのことでした。泥水が運んできたゴミは目の前の道路の反対側に山積みになっていました。Cさんは郡山の仮設に避難されていた方です。人生の起こった戦争や震災、災害の中を生き抜いて来られ、災害を経験したことがない私達を手作りの漬物でもてなしてくださいました。



* クリスマスの川内村支援献金は 75,118 円でした。心より感謝申し上げます。